

研究構想シート	学校名	吉賀町立柿木中学校
	氏名	大畑 博明
A 研究主題 ICTを活用した、「わかる」学習の推進		
B 研究の目的 子どもたちが将来の夢や目標を持ち、自己実現に向かって、「わかる」と実感できる学習を積み重ねられるよう支援するため		
C 子どもの実態 ○素直な生徒が多い。 ○家庭学習の時間が少ない。 ○自分に合った家庭学習の仕方が見つからない生徒が多い。	E 手立て・内容（研究仮説） ○本時の目標やねらいをわかりやすく伝え、展開の中でICTを有効に活用し、終末にふり返しを行えば、生徒は「授業がわかる」と実感できるだろう。 ○「授業がわかる」と実感できるようになると、宿題として平易な学習プリントに取り組みせれば、家庭学習の足がかりとなり、家庭学習時間が増加するだろう。 ○授業および家庭学習におけるICT・タブレット端末の効果的な活用を検討する。	D めざす子どもの姿○「授業がわ
	F 検証方法○一定期間実施の後、生徒アンケート・教員アンケートを行う。	
	G 研究計画 ○一人一授業公開の実施単元・時期等を考え、学校全体で計画的に進める。 ○一人一授業公開で概念化された情報を、職員会において校内で共有する。 ○町教育委員会と連携し、家庭学習におけるタブレット端末の活用について検討する。 ○1学期中に、吉賀町の巡回相談の機会を利用し、特別支援について研修する。 ○夏季休業中に、人権課題「性の多様性」についての出前講座で研修する。 ○長期休業中に、取組についてふり返し、必要に応じて見直しをする。	